

天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く、わたしの思いは、あなたがたの思いよりも高い。

(イザヤ 55 : 9)

残暑お見舞い申し上げます。皆さん、お元気ですか。チア・にっぽんも秋の様々な企画に向けて、元気に準備が進んでいます。

6月のコンベンションでは、皆さんのご参加とお祈り、誠にありがとうございました。おかげさまでチア・コンベンション、神様のあわれみと恵みと祝福のうちに終えることができました。今年は、大阪コンベンションの3日前に、予定していた講師のグレッグ・ハリス氏が、肺炎で日本に来られないと連絡が届き、スコット・ソマービル弁護士に急ぎよ連絡を取って、ピンチヒッターをお願いし、徹夜で準備・搭乗してもらうこととなりました。

大阪は約300名、東京は520名あまりの皆さんが参加してくださり、思わぬアクシデントを温かく受け止めてくださいました。スコット弁護士は、2004年のコンベンションと白馬、2010年の白馬と来日くださり好評でしたが、当時を体験する人々が駆け寄り「2004年にチャレンジを受け、ホームスクーリングを決断しました。今回、神様が送ってくれたと思う」「2004年の時、多くの聴衆が涙をもって聞き、今の祝福につながっています。今回も本当に良かった」との会話やコメントが続きました。皆さんの様々なご支



神様の恵みとあわれみのシャワー浴びて  
(上：チア・コンベンション東京会場) (下：大阪会場)

援あつての成功であり、本当に感謝に思っています。心から感謝申し上げます。

7月は、チア・カリフォルニア・コンベンションで、チア・にっぽんからの報告と祈りの時間が設けられ、5000名あまりの皆さんが祝福を祈ってくださいました。平行して進んでいます「バイブルミュージアム・プロジェクト」「国会関連」「チア・サポート・スクールの改革・成長プラン」ほか、さらなる働きの前進のために、各方面との連携や取材等、進んでいます。

事務局は、7月は少し夏休みモードでしたが、現在は、秋の企画の準備に入っています。9月は9日に「チア・オリンピック」、18日（祝）は「チア / 伊勢崎・東京路傍伝道デー」、21日～23日は「チア・わくわく集中勉強合宿」「チア・ジョイ・スイミング」と続き、11月の白馬セミナー（グレッグ・ハリス氏のスライド登板）開催の準備へと向かいます。お祈りとご参加のほど、ぜひ、よろしく願います。暑い夏ですが、皆さまへのますますの祝福を心から祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

## コンベンション講師グレッグ氏肺炎のため、スコット・ソマービル弁護士に交代へ

コンベンション大阪の3日前、基調講演予定のグレッグ・ハリス氏から電話がありました。「肺炎となり、明日の飛行機には乗れない状態。本当に申し訳ないが…」肺炎ということで、選択の余地がありません。「先週、実家の父が肺炎で入院し、その大変さ、分かるよ。心配しないで安静にしてください」と伝えました。

まずは、「神様にすべて感謝！すべては益と変えられる！」と、心を整え、急きょ、ピンチヒッター探しに取り掛かりました。そして2004年コンベンション、白馬、2010年白馬セミナーで3度とも好評だったスコット・ソマービル弁護士に依頼をしました。

スコット・ソマービル氏とは、時々、全米各地での会場で再会していましたが、電話は、7年ぶりです。「Hi スコット、久しぶり！元気？」までは良かったのですが「ちょっと驚かせるよ。突然、ごめん。明日から、日本に約2週間来てくれませんか？」「（スコット弁護士）え？それは驚いたよ（笑）。手伝いたいけど、多分、無理だと思う。孫たちを3週間預かって、面倒見ているし…。でも、マーシャと話してみるから10分後に電話ください」。そして、10分後。「マーシャに励まされた。パスポートが手元になく、それが見つければだけど、行くよ」とのことでした。

それから半日後、スコット弁護士さん家族は車で3時間かけて自宅に戻り、「パスポート見つかった。今晚午前2時の便で日本に向かいます」という急展開で、太平洋上空に飛び立ってくれました。

スコット氏は6人のホームスクーラー・パパです。ハーバード大ロースクールを卒業後、弁護士となり、HSLDA（ホームスクーリング法的擁護協会）に勤め、その後、奥さんのマーシャさんがホームスクーラー用の教材「恵みの織物」を開発。HSLDAのアソシエイト弁護士に退きながら、父親向けのカリキュラム等を執筆しつつ、マーシャさんをバックアップしてきました。

「あなたの家に隠された宝」「ホームスクーリングについて妻が夫に知ってほしいこと」「ティーンの育て方」「子どもたちに対して忍耐強くあれ」ほか、励ましとなる8つのトピックを定め、ピンチヒッターを引き受けてくださいました。

## 家に隠された宝・子どもたち

実際、会場では、上記のコメント通り、10年前の来日時にホームスクーリングを決心され、感慨をもって再会された皆さんや、「マガジンで記事を読んで励まされ、ぜひ、再来日をチアにお願いしようと思っていました」と私に話してくださいる皆さん、そして、初めて聞かれる皆さんにも大変、好評でした。私自身、今回、エミリやジョセフと一緒に参加でしたが、何か子育て



### ピンチヒッターで急きよ来てくださった スコット・ソマービル弁護士

てが思い通りいなくても「あなたの家の隠された宝だ！」とのスコット弁護士のメッセージを思い、忍耐強く対応ができて助かりました。

マタイの福音書 13章 44節に「天の御国は、畑に隠された宝のようなものです。人はその宝を見つけると、それを隠しておいて、大喜びで帰り、持ち物を全部売り払ってその畑を買います」とある通り、天の御国、そして天から与えられた子どもたちは隠された宝ですね。まだ道半ばで、その全貌が見えなくても、子どもたちは、親が犠牲を払い、神のまなざしをもって忍耐し、見出していく価値のある尊い宝ですね。だからこそ、ホームスクーリングで犠牲を払う意義があるのだと、新しい力を注がれました。良き仕事をしてくださったスコット弁護士、送ってくださったマーシャ夫人、そしてすべての計画を司る神様に心から感謝しました。

「基調講演予定者の直前の交代」は初めてであり、残念でしたが、その後、グレッグ氏の体調は回復し、11月の白馬セミナーの登板に向けて準備を進めてくれていますので、楽しみがダブルとなりました。

「すべての事について、感謝しなさい（Iテサロニケ 5:18）」「神がすべてのことを働かせて益としてくださる（ローマ 8:28）」「(イエス様が) 司令官（イザヤ 55:4）」との御言葉の確かさを、改めて教えられています。

### 琴さん、天国へ

#### －皆でご家族の癒しと祝福を祈る！

多くの皆さんが参加くださったコンベンションですが、参加を目標にしてガンと闘っていた栗原琴さんの姿はありませんでした。5月17日に、天国へと旅立っていかれたとのことでした。会場には、ご主人の肇さん、3人の子どもたち（一心（いっしん）君（12）、琥太郎（こたろう）君（7）、叶（かなう）君（5））、そして琴さんのお母さんの下窪明美さんが来られ、登壇してくださいました。下窪さんは、琴さんが「平安の中で3人の子どもたちに、主に結びついたまま歩いていくように声をかけ、見事な召され方で、天に向かっていきました」と、私に話してくれました。肇さんからの報告にも、皆さんと涙しました。

琴さんは入院中も「いつも変わらない平安があることが感謝です。朝晩、子どもたちと一緒に祈れる時間が一番の幸せです（^）」。今年コンベンション参加が私の目標、予定に組み込まれていません☆行くぞ〜！と連絡をくださっていました。きっと天国から応援してくださっているかなと思いました。

### 病と向き合い、神様に教えられたこと

ステージでは、昨年同様、ガンで闘病した皆さんのリードで会場全体での祈りの時を持ちました。代表祈禱者の一人、北海道から参加くださった川嶋しのぶさんは、術後、3年を過ぎても乳ガンの再発はありません。テモテ・ブローマンさんは、栗原さんの3人のお子さんたちと同年齢の子どもを抱え、2回の造血幹細胞自家移植に成功されました。その後もガンの数値は低いまま進み、今年東京コンベンションに参加くださり、祈ってくださいました。8月23日現在でも数値は低く、医師は、「自分自身の免疫力が回復し、自らが癌細胞をやっつけているのではないかと思います。骨髄の状態はかなり良い状態です」とのことです。2012年秋に発病し、2013年1月には余命1ヶ月と言われていたテモテさんにも、今も奇蹟の歩みが続いています。ここ数か月は、ピリポさんらと朝の数時間、聖書の言葉をプラカードにしての交差点伝道に30数回出かけておられます。「弱



者連合で、伝道ができて、とてもうれしいです」  
とのことです。

やはり骨髄移植をした長野県の小畑英基さんは、参加はできませんでしたが、代わりに現在、看護学校に進学している長女でホームスクーラーの百合花さん(22)が長野県下諏訪町から参加され、登壇(妻の由美さんからの近況報告は32ページへ)。

### 野望砕かれ、主に向き合う

また、胃ガンで余命1年と診断されていた三橋宏史さんも登壇くださり、約3年間、進行なしとの報告と共に祈ってくださいました。バイブルミュージアム関連のボランティアで活躍してくれた長女のホームスクーラー、優希ちゃん(13)は6月にNHKの教育番組の取材を受け、パソコンソフトを開発する様子が放送されました(31ページ掲載)。そのようなグッドニュースが続いていたのですが、その後三橋さんから、7月に吐血し入院、自宅療養との知らせが入りました。その後、貧血はかなり回復され、8月23日に胃の全摘手術をするとのことでした。「いつもチアのニュースレターやマガジンを読むと、信仰の火が大きくなり、希望と励ましをいただき

ます。おかげさまで、ガンの拡大はなく、一般的には奇蹟としか言いようがないレベルで健康を保たれ、主との交わりがより親密になっていくことが恵みです。今回の吐血～手術によって、自分が握っていた仕事における夢、野望が砕かれ降伏させられたと思いました。仕事にとらわれていた的外れな人生から救出され、主に向き合えるようにして下さったのかなと考えています。今までのことも益とされて、今後その結果を見ることができると信じています。続けてお祈りいただければ幸いです」とのことです。

### 平安ー「わたし(神)の思いはあなたがたの思いよりも高い(イザヤ55:9)」を信じて

ガン闘病に関連した祈りの課題ですが、これまで白馬や夏キャンプ等で励ましのメッセージをして下さった馬場豊さんの次男の潔(きよし)さん(51)と5月、仙台で再会しました。東南アジア伝道に長く尽力され、娘のエミリが短期伝道に向かった時も、大変お世話になりました。潔さんはガンとのことで日本に来られ、診断を受けられました。11人の子どものお父さんで、一番下は4歳になったばかりです。「先ほど、余命6ヶ月と言われました。10月上旬までとの



今春、召天された栗原琴さんのご家族への心の癒しと励ましを、みんなで祈る!(チア・コンベンション東京会場)

こと。神様は、最善をしてくださると信じています」「そうでしたか…。チアの皆さん、豊さんに励まされた方も多く、潔さんの働きを知っておられる方も多いです。祈りの課題として知らせますか？それとも、個人的に祈っていきましょうか？」「ぜひ、お知らせして祈ってください。チアの皆さんに出会って、励まされています。祈りを神様は聞かれますし」とのことでした。それから3ヶ月経ちましたが、今、ミャンマーの自宅で、末期ガンと闘っておられます。

「病院の帰りにお会いしてからすでに3ヶ月半になりますね。振り返ってみると、すべて神様が導いてくださったとしか言えません。日々病苦と闘う中で教えられたことは、主は常に私たちの祈りを聞いておられるということです。人間の思い、人間の判断でいつも物事を分析し、どうして祈りに答えてくださらないのだろうか、どうしてこんな結果になっているのだろうかと疑問に思ったりします。しかしイザヤ55：8、9にあるように、主の思い、主の道（御計画）は私たちの思いよりはるかに高く、主は私たちが思いもよらないことをすでに計画されているのです。これを信じることによって心に平安を持つことができました。もちろん人間の弱さのため、時々不信仰になったり、疑問が起きたりしますが、主がすべてを良きにしてくださることを信じつつ、一日一日主に与えられた命を感謝しながら生きている毎日です」とのことです。

### すべてに感謝・思い残すことなき人生

白馬セミナーの講師でお迎えする予定だった丸森チームの笹川修歯科医は2014年12月、明泉学園の卒業生保護者でクリスチャンとなった光川医師からガンと診断を受けます。その後、「2016年7月までの命」と宣告を受ける状態となりました。しかし、ガンの痛みと闘いながらも、幸い、3年半経った今も元気に過ごされています。「恵みに満ちた日々で、年齢も80を超え、もう何も思い残すことなく、天国に行ける。ただ感謝。あまりに感謝で、私は自分の癒しのために祈ったこともなく、祈りは他の人のため。しかし、ガンの値が下がったのは、多くの方の祈りのおかげ。感謝」とのことです。1ヶ月前から、転移ガンの激痛を

抑えるために入院中です。

この6月は、最後の伝道として、山形の路傍伝道にも出かけ、祝福されたそうです。さらに最近も病院の近くで、車の屋根に取り付けたスピーカーから福音を流す、スピーカー伝道に加わることもできたとのこと。「今、天国が間近で本当にうれしい。仏教・座禅に心を注いでいた自分がクリスチャンとなれたことが奇蹟。クリスチャンになれて、本当に良かった。すべてに感謝。歯の治療に力を尽くせて感謝。ポールさんと出会い、新潟から丸森に来て、その後、インド、タイ、ミャンマー、カンボジア、モンゴル、中国等30年間に亘って治療でき、後継者のインド人Dr. キデオオン先生の教育も終わった。人生に悔いなし。養女の愛子を主から頂いた時、20年間の養育を主にお願ひ致しました。ガンが全身に転移した時、愛子はすでに30歳になっていました。ガンを治療する何の理由も残っていませんでした。7月21日、転移ガンの激痛のため、入院して1ヶ月。今、たくさんのおちがあつた自分に神様は悟りを与え、キリストの福音を伝える人生に導いてくださったこと、本当に感謝。主に感謝、大いなる主を心から賛美いたします。我が救い主イエス様」。引き続き、お祈りいただければ感謝です。

ガンに限らず、多くの皆さんに病や困難が許されている旨、連絡をいただいています。どうぞ、神様の特別な癒し、また平安と奇蹟、強い目的を目指した新しい力と祝福が与えられ続けるようにお祈りください。末期ガンと宣告されてから回復し、すでに5年が経過するテモテさんに「神様に示されていることは？」と聞くと、次のように答えてくれました。

「神にとって不可能なことは一つもありません（ルカ1：37）」

「われらを敵の手から救い出し、われらの生涯のすべての日に、きよく、正しく、恐れなく、主の御前に仕えることを許される（ルカ1：74～75）」

「わがたましいよ。主をほめたたえよ。…主の良くしてくださったことを何一つ忘れるな。主は、あなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病をいやし、…あなたの若さは、鷲のように、新しくなる（詩篇103：1～5）」

栗原さん、川嶋さん、テモテさん、小畑さん、



## 子どもたち 300 人で臨んだチルミニ 賛美！（チア・コンベンション東京）



三橋さん、馬場さん、笹川さんファミリーほか、苦難や試練の中においても聖書に堅く立って進んでいる同胞の皆さんのために、どうぞ、お祈りください。

### 聖書絵画・写真・聖句掛け軸コンクール&自主企画、大盛況！

今年のコンベンションでは、聖書絵画&写真コンクール、聖句掛け軸の申し込みが180作品を超え、オフィスは郵便局や宅配便の皆さんが一日に何度も足を運ぶ盛況ぶりでした。「聖書に立つ」「勤勉」「実力を養う」「創造性」を目的としたコンテストですが、本当にうれしく、一つ一つの作品に励まされます。そして毎年、作品

のレベルが高くなっている気がします。

来たる白馬セミナーでは、例年の読書感想文に加え、賛美作詞作曲大賞も新設予定です。こぞって応募ください。

コンベンションで公募した「自主企画」では、藤本道子さんの「英語創作絵本」や、乾さん親子の「みことばブレスレット You are Precious」、金喜望さんのシフォンケーキ、奈良珠光さんのアクセサリー SHOP、辻創君の「翻訳絵本」、稲葉ジョセフ君の「子どもカフェ」と、にぎやかで大盛況。食品系はすべて完売で、手芸、研究発表系も大好評で、日ごろの研鑽ぶりがよく伝わってきました。「自主企画・自主発表」は白馬でも受け付けます。こぞってご参加ください。

## OB/OG・ユースからの神と親への感謝

OB/OGセッションでは、ホームスクーラー卒のクリスチャンとして、どう社会にインパクトを与えていくかをテーマにしました。「ホームスクーラー ドロップアウト」というドキュメンタリー映画の視聴後、「ホームスクーリングをどう理解し、伝え、実践していくか」をテーマに話しました。今回、LIT（リーダーズ・イン・トレーニング）の参加者も含め、大阪40名、東京80名あまりの皆さんが集まってくれました。

最後の全体セッションで、OB/OGとLITに壇上に上がってもらい、短くインタビューの時を持ちました。「自分のために、親がどれだけ犠牲を払ってくれていたか、今日、改めて示されました。自分は感謝が足りなかった。本当に感謝」「面接の時、会社で伝道しないでくださいと言われました。でも、ホームスクーリングって何？と聞かれ、そこからほとんどの皆さんに伝道する機会が開かれました」「今日の映画で、見た目は立派なホームスクーラーでも、大学等で信仰を失いかけるケースがあるとありました。私も大学で信仰を失いかけ、自分のことだと思いました。何のためにホームスクーリングをしたのか再発見し、見つめ直す時となりました」「入社試験の時、ホームスクーリングをしていることが注目され、盛り上がり、合格につながる要素の一つだったと思います。神様と自分を愛し、ホームスクーリングで育ててくれた親に改めて感謝しています。キリストの福音、またホームスクーリングをもっともっと伝えられればと祈ってます」「今日、映画を見て、ホームスクーラーの6つの弱点等を教えられながら、自分の生ぬるさに気づきました。また、こんなに親や皆さんが愛情を注いでくれたこと、大切な使命があることに気づきました。神様に赦しを乞い、新しい力が与えられるよう祈っていきたいです」。まだまだこれからだと思いますが、神様は、素晴らしい世代を育て、成長させてくれていると、とても感謝な思いになりました。

## 警察官の訪問

### 一進む、ホームスクーリング環境整備

7月初旬、「近くに泥棒が入ったということで警

察の訪問があり、ホームスクーリングをしていることを知ると、教育委員会へ通報すると言われました」とAさんから連絡をいただきました。学校や教育委員会というケースはありましたが、警察が絡むというのは、この18年、多分初めてのケースだと思います。びっくりしたであろうと思い、ロサンゼルスにおりましたので、国際電話をすることにしました。Aさんは、別荘でホームスクーリングをしていて、その様子を町で見かけていた、赴任したばかりの警察官の方が尋ねたとのことです。Aさんがホームスクーリングについて簡単に説明したところ、好意的ながらも、地元の教育委員会に連絡するとのことで、それを止めてくれるよう警察に連絡したそうです。

基本的にはレアなケースですが、今後、このようなことがあっても驚くことなく、冷静にしっかりと対応していただけるように、その時にお伝えした対処法を簡単に報告させていただきますね。

## 稲葉からのアドバイス

(1) ホームスクーリングは、悪いことをしているわけではないので、警察官の皆さん等の質問や動き等に、動じない、心配しない。思いわずらわない。聖書にある通り。

(2) たとえ、本宅のあるC市の教育委員会に通報されても、特に問題ないので、警察官を止めようとしな。警察も、消息不明児童とかネグレクト児童とか、発見、報告の任務があるので、そこは理解し、敬意をもって接する。

(3) 啓蒙と伝道を兼ねて、愛と祈りと余裕・確信をもって接する。

(4) 警察から折り返しの電話がくれば、C市教育委員会、D小学校と連絡を取っている旨を伝え、参考情報として、B町の教育委員会にも伝えていいと伝える。D小学校には毎年4月、教科書ももらいに行っている旨を伝える（今年6年目）。

(5) 全国的なサポート団体であるチア・にっぽんと連携して行っている旨を伝え、チア・にっぽんのHPアドレスを伝える。特に、多様な教育やホームスクーリング等に関わる「教育機会確保法」の関連記事、また、720名の全国会議員に送った手紙コーナーが掲載してあるので、そのページを参考情報として伝える。関連して、5人の元文科大





親子で参加 OK! OB/OG 向けセッションも好評!

臣、元官房長官、元文科副大臣らが書いたチア・にっぽんの推薦文や、30数名の議員や文科省の皆さんらと行った個人面談の記事等もアップされているので、参考情報として伝える。できれば、法案を特集したチア・マガジン43号～45号をプレゼントする。

(6) 親無しで、子どもと警察官だけの尋問等を求められた場合は、応じない。子どもの心に傷がつく場合も考えられるため、欧米では応じないのが常。日本の警察、司法関係、教育関係の皆さんも普通は理解するはずで、親として子どもの心を守る責任がある。もしさらに求められれば、チア・にっぽんと相談させてくださいと連絡する。

(7) 昨日、ホームスクーリングをしている友人のEさんのことを話してしまったが、彼らに迷惑をかけたくないので、その情報は消してもらうように頼もうと思うが、どうか。

→ (回答) 話してしまったのは仕方ないので、こちらからは、聞かなかったことにしてほしい等、あれこれ言わない。逆に怪しまれたりするので、向こうが聞いてこない限りは蒸し返さない。基本的に、向こうがアクションしてきたり、説明を求められたら、それに答える姿勢で臨む。

(後日、Eさんにお詫びし、快諾を得た)

(8) チアには、できるだけこまめに連絡する。警察等にアクションしてからでは、こじれることもありうるので、行動する前に連絡する。基本的には、ホームスクーリングは聖書と憲法に保障されており、今年2月に施行された「教育機会確保法」にも、その重要性を鑑みるようにと明記されている。動揺せず、恐れず、祈りつつ、謙遜に、神様と法に示された、本来、親がなすべき正しい教育を行っているという確信をもって、堂々と対応する。

…といった話し合いをしました。その後、Aさんからお礼の電話があり、「学校・教育委員会からも特に連絡はなく、大過なく過ぎました。マガジンを改めてじっくり読み直し、ここまで法的にはっきりとしたことなんだ…」と思い、恐れることはないことが分かりました。今回のことは、ホームスクーリングをされていて初めてのことだったので、本当に驚きました。本当に、助けていただいてありがとうございました。とても、とても、心強かったです!!」とのことでした。神様のおかげで、環境整備が進み、本当に感謝な状況が整えられていると思います。思いがけないことも許されると思いますが、ますます前





日本のホームスクーリングムーブメント・教育機会確保法案の展開に拍手喝采、鳴りやまず！

進していければと思います。

## 世界との絆、さらに深まる

### ーチア・カリフォルニア 5000 名からの拍手と祈り

チア・カリフォルニア・コンベンションでは、おかげさまで、とても祝福された時を持ってました。会場には 5000 人あまりがごった返していたのですが、奇蹟だなと思うくらい、会おうと思っていた方々と全員会う機会が与えられました。

まずは受付に行くと、新しいリーダーとなったアンジュリ・ワタナベさんと出会いました。そこで講師用チケットを準備していると、分科会を終えたマイク・スミス HSLDA 代表弁護士がひょっこり現れました。ぜひ、会っていろいろと相談したいと思っていましたが、何と「一緒にお昼を食べよう！」と先方から誘ってくれました。約 2 時間、最近の国会、「多様な教育をめぐる教育機会確保法」や、「家庭教育支援法案」等のアップデートができました。マイク・スミス代表は 2 年前、多様な教育法案について相談した時、「Hiro、この法案は、このまま通れば、世界で最悪のホームスクーリング法案だよ。家庭訪問の条文化は、危険。教育委員会の許認可制も良くない」と警告、アドバイスしてくださった方です。

その後、神様の助け、皆さんの祈りの中で、法

案は、私たちが願っていた方向（家庭訪問条項の削除、教育委員会の許認可制の削除、「多様な教育の重要性を鑑みる」等の文言の条文化等）に変更されていきました。改めてその詳細をアップデートしたところ、「(マイク弁護士) 本当に奇蹟だ!」「(稲葉) 本当にその通り!」と主を讃えました。

それから、チア・にっぽんのメンターの一人のジュリー・ホーンさん（前チア・カリフォルニア理事）と約 3 時間、来年度以降の講師の選定も含めて話せました。さらに翌日は、家族ぐるみの付き合いをしているザン&ジョー・タイラーさん夫妻（日本で 3 度講演）や、講師候補のトッド・ウィルソンさんとのミーティングも開かれ、神様を讃えました。

2 日目の朝は、およそ 5000 人の参加者を前にして、日本のレポートの時を持ってました。国会での法案展開について、一言話ただけで会場全体が拍手となり、次の 1 文を話して神様を讃えると、次の拍手となり…。そんな拍手のうねりが、5 回、10 回と続くという初めての体験でした。私の後にすぐに基調講演者の講演が始まりましたが、「さっきの Hiro のレポートはすごかった。私たちも主にあって堅く立たなければならない…」と話が続きました。

このような国際的なネットワークが与えられ続



キリストにあって喜ぶ！  
(チア・コンベンション東京)

けていることも、神様からの貴重なプレゼントであり、強力な武器が与えられて、ホームスクーリングの環境整備にも大きな力になっていると思います。皆さんのお祈りとご尽力、本当に感謝です。重ね重ね、感謝申し上げます。

### 同期会とかき氷と聖句

今月行われた中学校の同期会に誘われ、家族に「友だちは大事だから、伝道のためにも行ってきて！」と励まされ、10年ぶりに参加しました(約100名参加)。目をつぶって片足で立つゲームがあり、日ごろ、チア・オリンピックやマラソンで鍛えていた私が総合優勝。かき氷機を賞品としてもらいました。何と1週間前、ロサンゼルスでジョセフと行った日系のスーパーで、ジョセフが見つけたかき氷機と同じ物でした。ジョセフは「これでかき氷作りたいなー」と言いましたが、「いいね。でもちょっと高いなー。ちょっと待ってね」「そうだね。分かったー」と言って、がまんしたものでした。それですごくびっくりして、特別にうれしく、感謝でした。

その後2次会で、遠方から来た私が乾杯の音頭とあいさつをしました。「かき氷機」を持ってステージに上がり、「最初に、幹事の皆さんに、さっきのゲームでもらったこのかき氷機を感謝

したいです」と言って、ジョセフの話をし、みんなが和んでくれました。それから「聖書では、『神様は、人間の齢を120歳までとした』と書いているから、みんな、まだ半分もいってないよ。神様は、みんなに使命を与えておられるから、これからますます元気にがんばりましょう！皆さんへの神様からの祝福を祈ります。乾杯」と話しました。

その後、幹事長の神馬君(薬局チェーン経営者)が「実際、医学界でも今は100歳は当たり前、これからは120歳になるだろうって言われてるんだよ。稲葉が言ったのは本当だよ」と言ってくれて、しっかり聞いてくれていてうれしく思いました。そして、大きく変わった人、最後の7人め、会場から「イナバコール」が起こって選ばれ、特に聖書の話をした上でだったので、うれしかったです(^)。実際、この7人は、髪が無くなって見分けられなかった人等で選ばれた7人ですが、でも、それだけでなく選ばれるようになればいいなと思っています。同期のみんなへの神様の祝福を大いに祈れた日になりました。

### ダニエルたちの新しい大胆さ

一天にあるもとを思い(コロサイ3:1)伝道へ



最近、ダニエル書を学ぶ機会が与えられています。異邦人の地にて、神に従う姿勢ゆえに、文字通り、命の危険にさらされたダニエルです。しかし御存じの通り、大胆に神様を見続けました。王に「火の燃える炉に投げ込め」と命令され（ダニエル3：11）、友であったシャデラクたちは言います。「…神は私たちをあなたの手から救い出します。しかし、もしそうでなくても…私たちはあなたの神々に仕えず、あなたが立てた金の像を拜むこともしません（ダニエル3：17、18）」。

批判を受けても、謙遜でありつつ、困難であっても、その背後に神の御手を見ました。人間的な目で最善でなくても、「もしそうでなくても」、神の視点からの最善がなされることを知り、人を恐れず、神を恐れ、従い続けたわけです。「主を恐れることは知恵の訓戒である。謙遜は栄誉に先立つ（箴言15：33）」です。そして上にあるキリストを見続けました。「キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい（コロサイ3：1、2）」。

私たちは神ではありません。失敗します。謙

遜である必要があります。しかし、神の友であり、子どもです。神への従順を妨げる圧力を恐れる必要はなく、新しい大胆さを持つことができます。イエス・キリストが、私たちすべての人間の罪を赦すために流された血潮を、ただ信じ、受け取った故に、心配したり、恐れたりすることがないという、特別な贈り物もいただいたわけです。ダニエルも3人の友も、神に守られ、特別な知恵を与えられ、異邦人の王、ネブカデネザル王の信頼と好意を与えられ、国を統治し、神の福音を伝えていきます。私自身も、悔い改めつつ、上にあるキリストを見上げ、その血潮による赦しとあわれみを賜りながら、歩んでいければと願って歩む日々です。

皆さんのチャーチ&ホームスクーリングの日々がますます祝福されますように祈っています。9月は、チア・オリンピック、路傍伝道企画「チア/伊勢崎・東京路傍伝道デー」、そして「チア・わくわく集中勉強合宿」と計画があり、神様の祝福を祈りつつ、準備を進めています。皆様のご参加とお祈り、よろしくお祈りします。皆さんの上に、神様の祝福が豊かにありますように、心から祈っています。

感謝しつつ 稲葉 寛夫



OB/OG、LIT 約 60 名へのインタビュー！親への感謝を分かち合う、励ましと希望の星たち